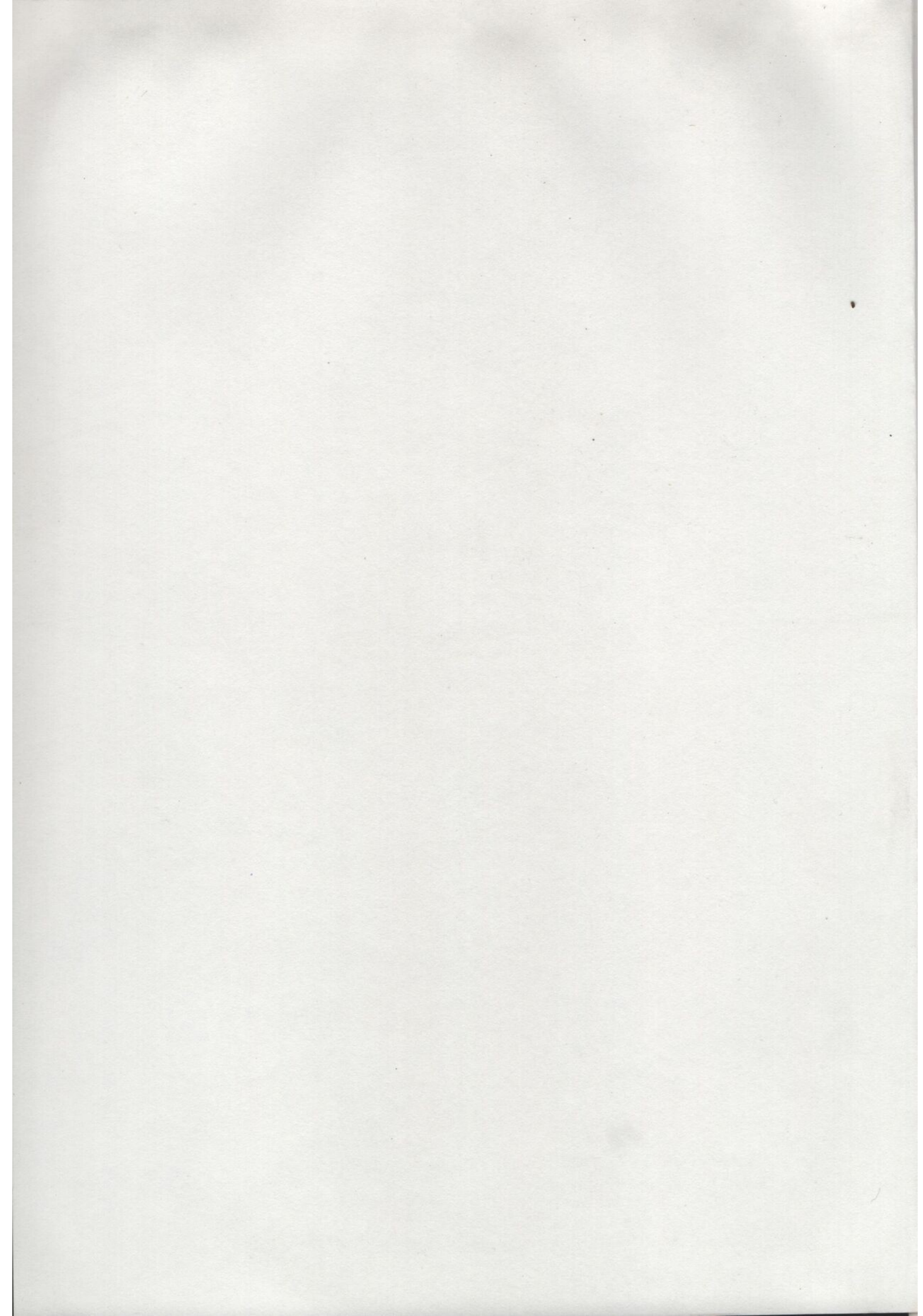


人畜有害



鬼畜にゃ無害

成年向け





設定と言うか、まあ、ページ稼ぎですな。

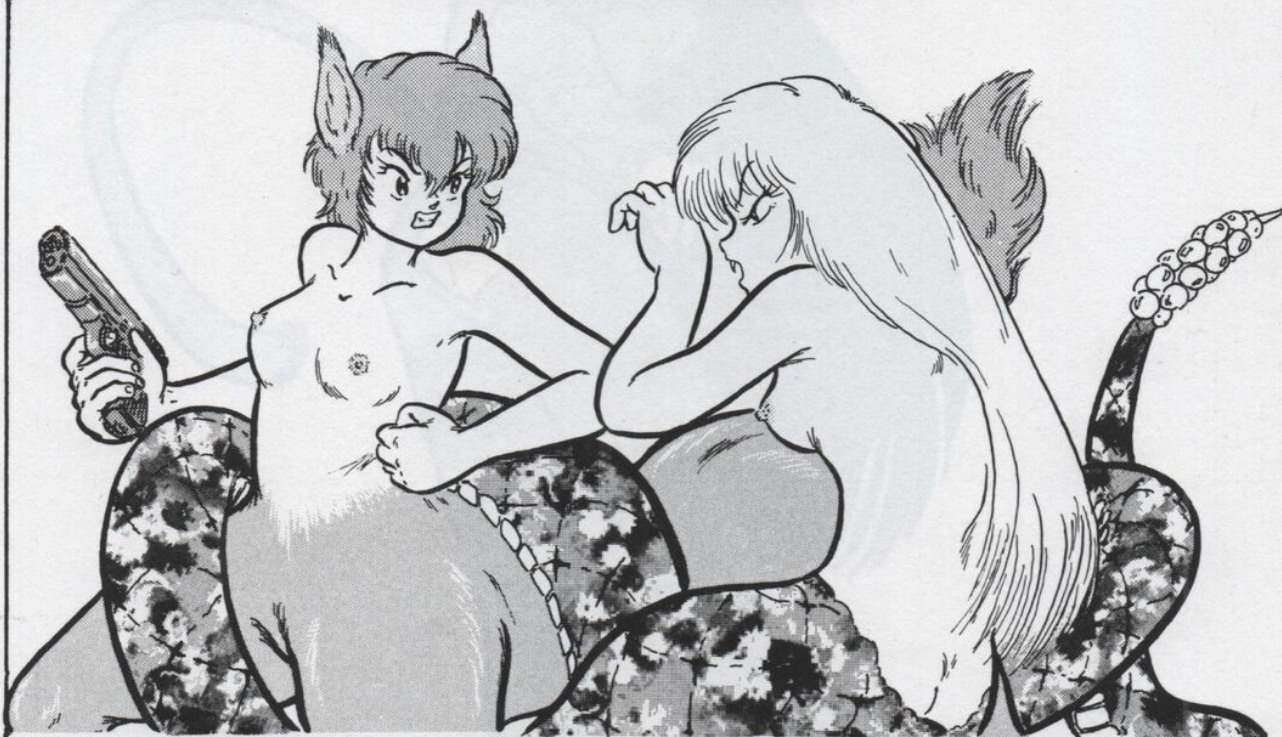
馬

馬は、知能が高く、教えれば、人間の出来る事なら、たいてい覚える。言葉も理解するが、発声器官の構造上、人語は喋れない。あつ、筆談ならできるかも？また、人に良くなつき、主人に対して非常に忠実な上、力も強く、作品中でも銃を使っていた様に、武器も使える器用さで、大変優秀な騎兵として、また、競走馬、農耕、労役に、軍民を問わず、広く使われている。

う〜ん、何故こんなに優秀な生物が、人類ごときに家畜として扱われているんだろう？（笑）

さて、この作品のヒロイン、お馬さんである。名前は無い。

この娘は、競走馬でもなければ、軍馬でもない、血統も何も無い、単なる労役用播馬。安かったんで買われたというだけの、はっきり言って、駄馬である。



蛇

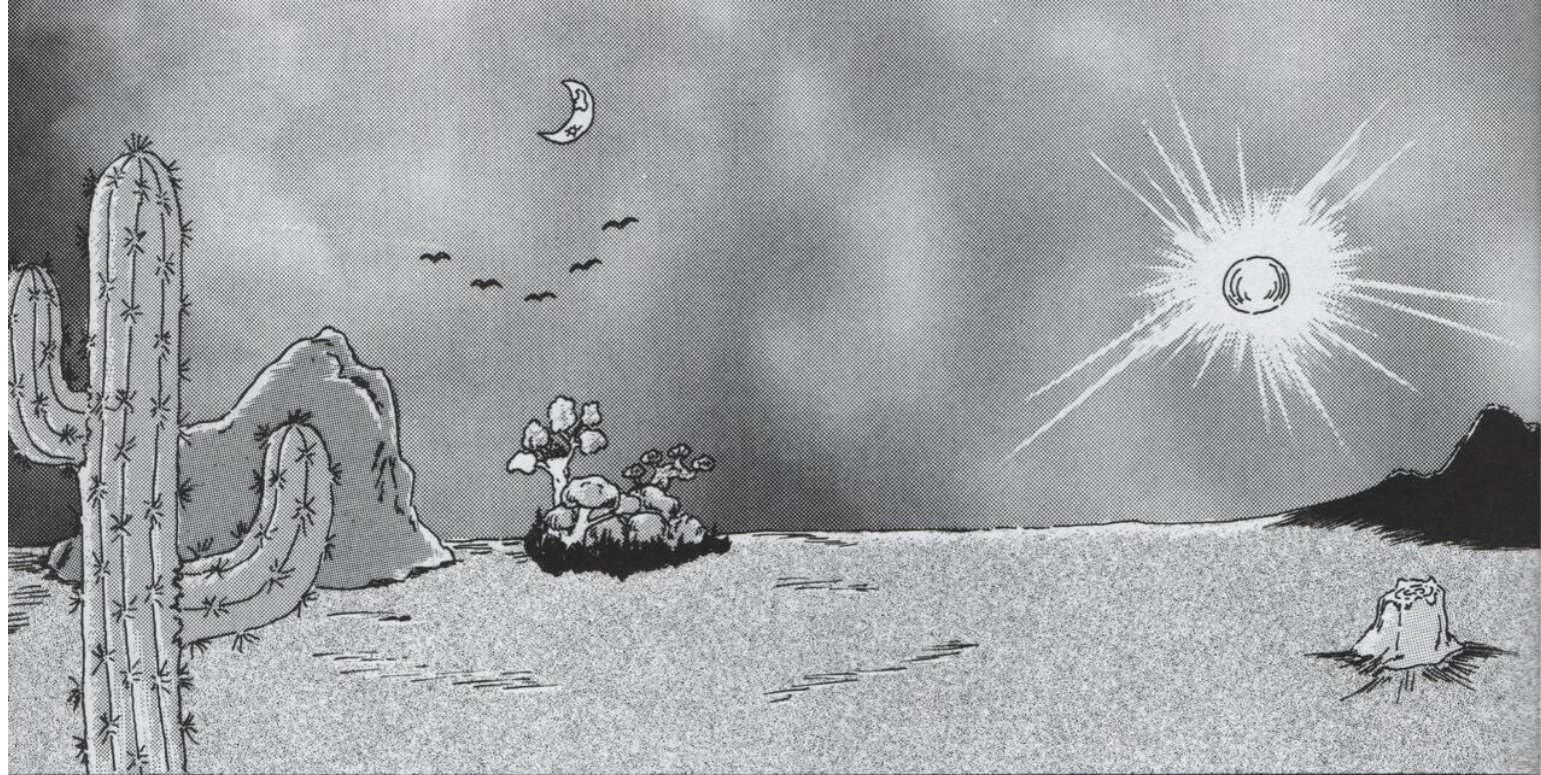
作中では、お馬さんに冷血動物扱いされていたが、温血である。恒温爬虫類で、卵を産んで乳で育てる。こうなると、単孔類に近いような気もするが、総排泄口と、生殖器は別である。極地を除く、世界中に広く分布し、半数以上の種が、毒を持っている。

知能は人間でいえば2〜3歳児程度。めったに人に馴れないが、根気よく仕込めば、簡単な芸ぐらいなら覚える。ごく簡単な命令程度は理解するが、言語を理解しているわけではない。ニュアンスを理解しているだけである。所詮は野生動物。考えてみたら蛇には耳が無い。（笑）

さて、この作品のヒロインのライバル、蛇である。やっぱり名前は無い。

この娘は、猛毒のガラガラ蛇。何せこのサイズである。牛どころか、鯨だって死にそうな気がする。恐らく一噛みで、千人分位の致死量に当る毒が…。こんなものの口にちん〇んを突っ込もうなんぞ、やはり正気の沙汰とは思えない。前の飼い主の死因は、推して知るべし…である。

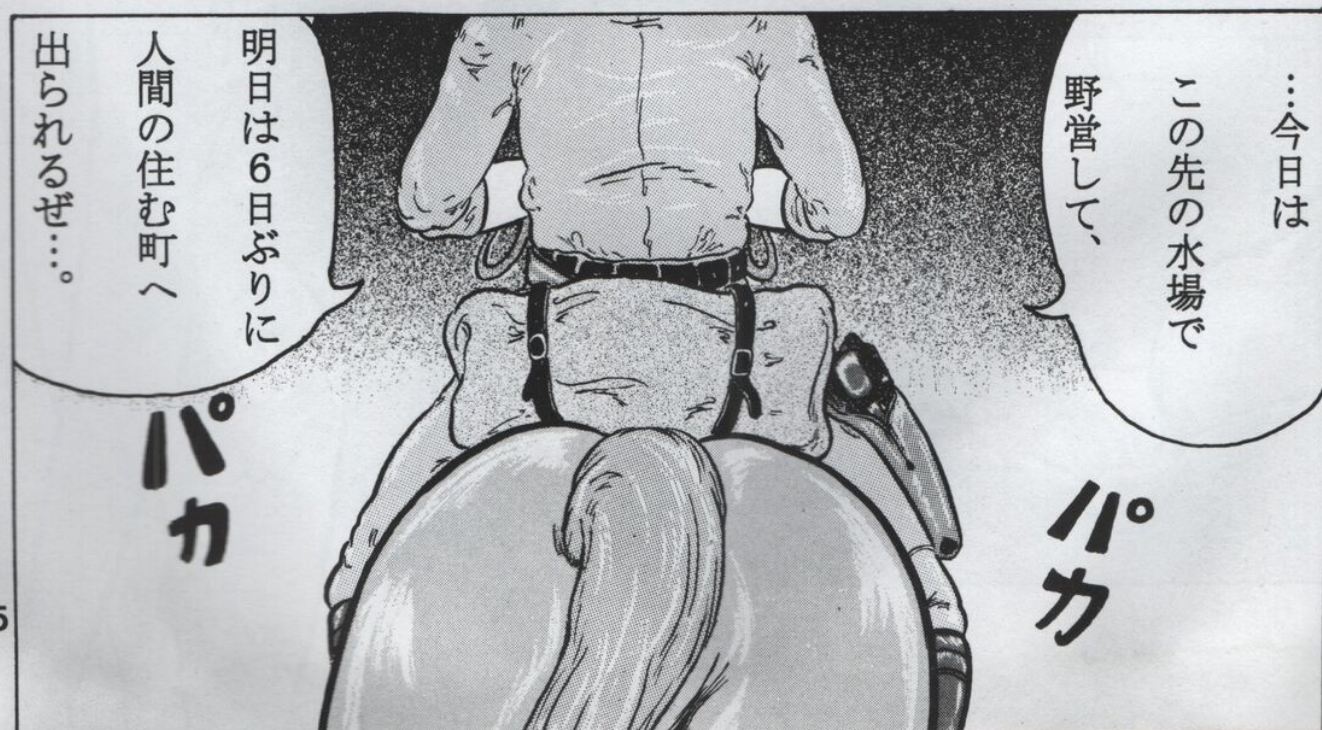
まあ、この世界は、私が昔から良く使っているオリジナル設定の世界なので、他にも『鳥』とか『魚』とか『虫』『牛』『犬』『猫』など居るんですが、ネタがバレバレなので、それらは、それらが登場する話を描いた時にでも…。

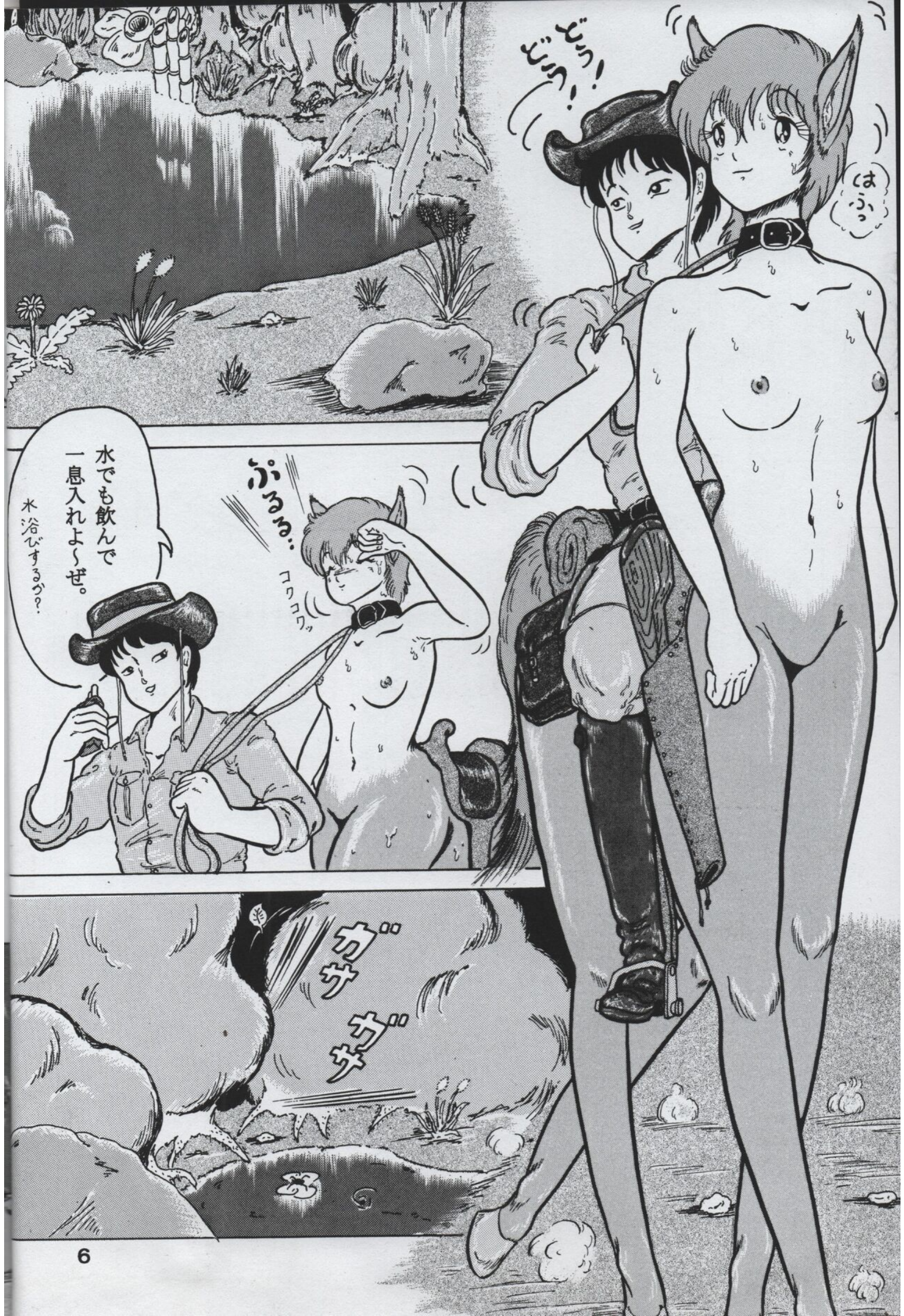


男の中の男



ばあびい露木





はっ！
はっ！
はっ！

はっ！
はっ！
はっ！

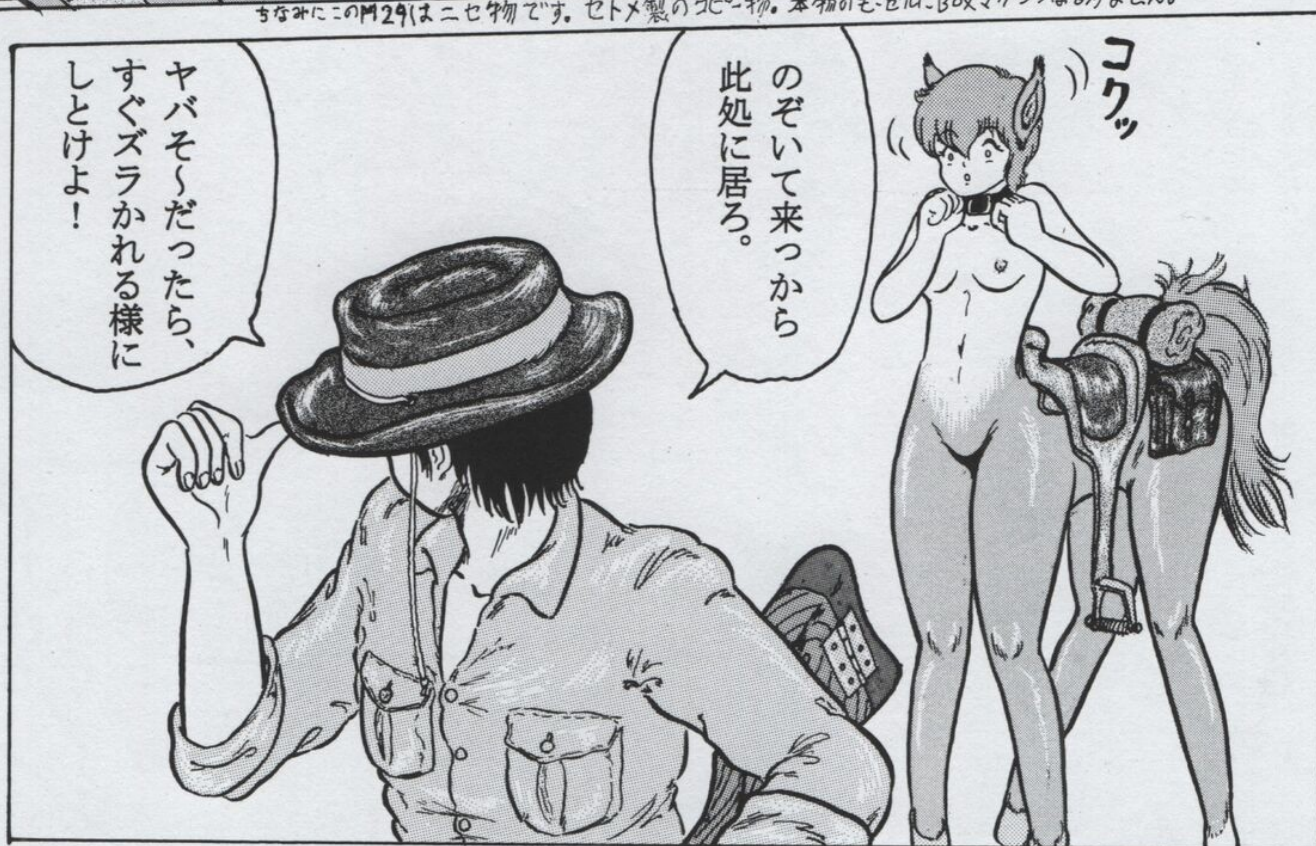
ふるふる。
コクコク

水でも飲んで
一息入れよーぜ。
水浴びするの？

ガ
サ
ガ
サ



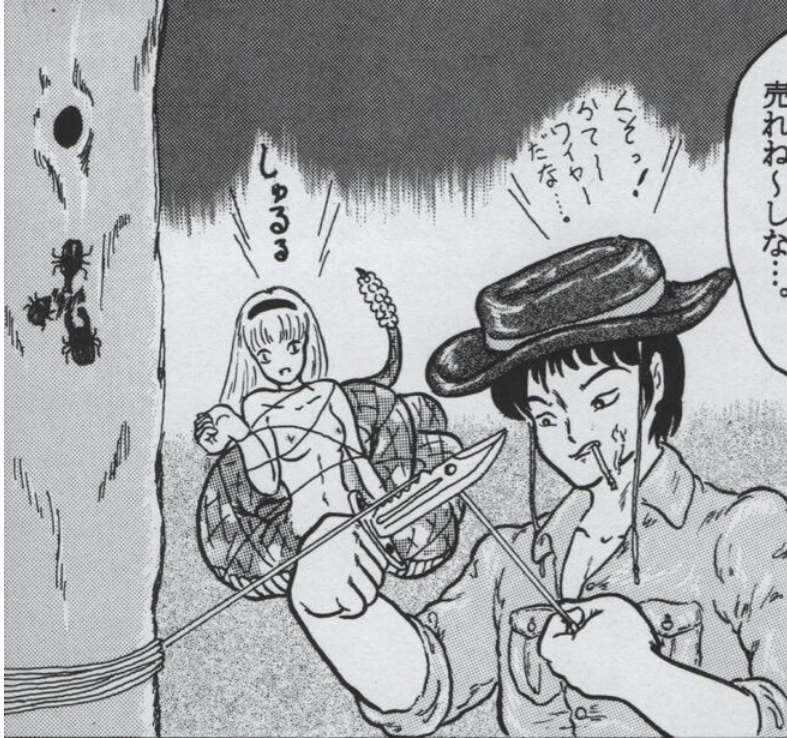
ちなみにこの門29はニセモノです。セトメ製のコピー物。本物のモノにはBOXマガジンはありません。



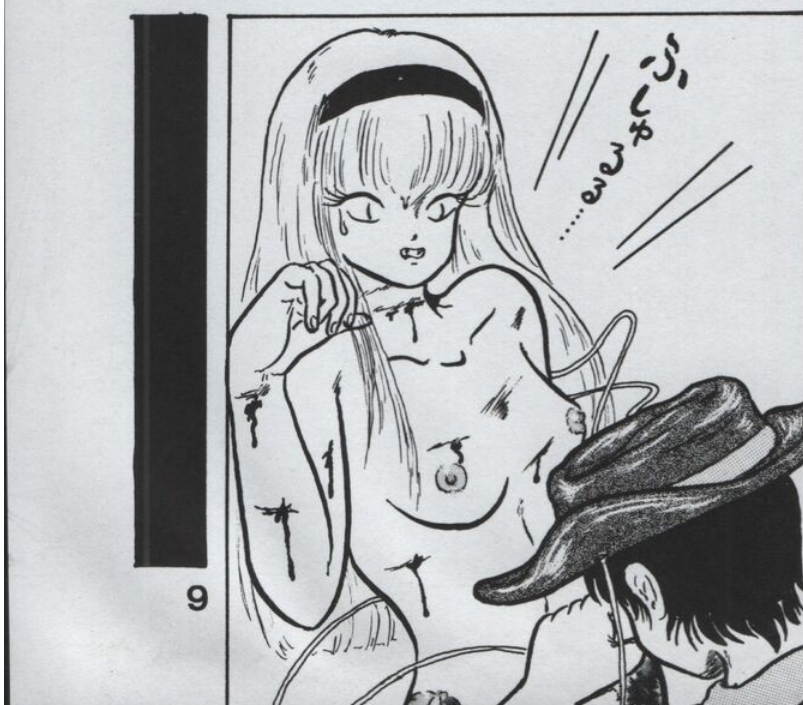
7

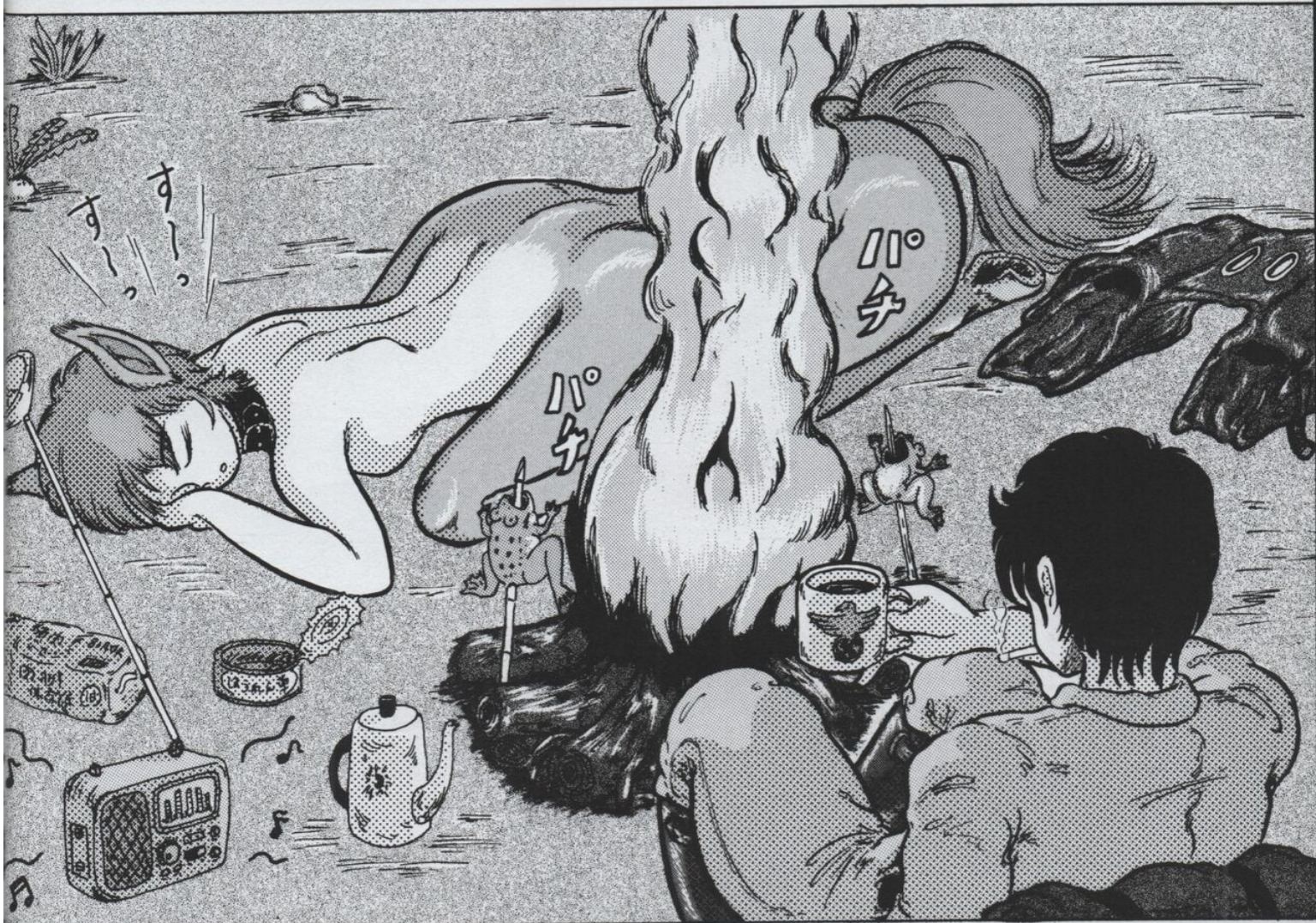


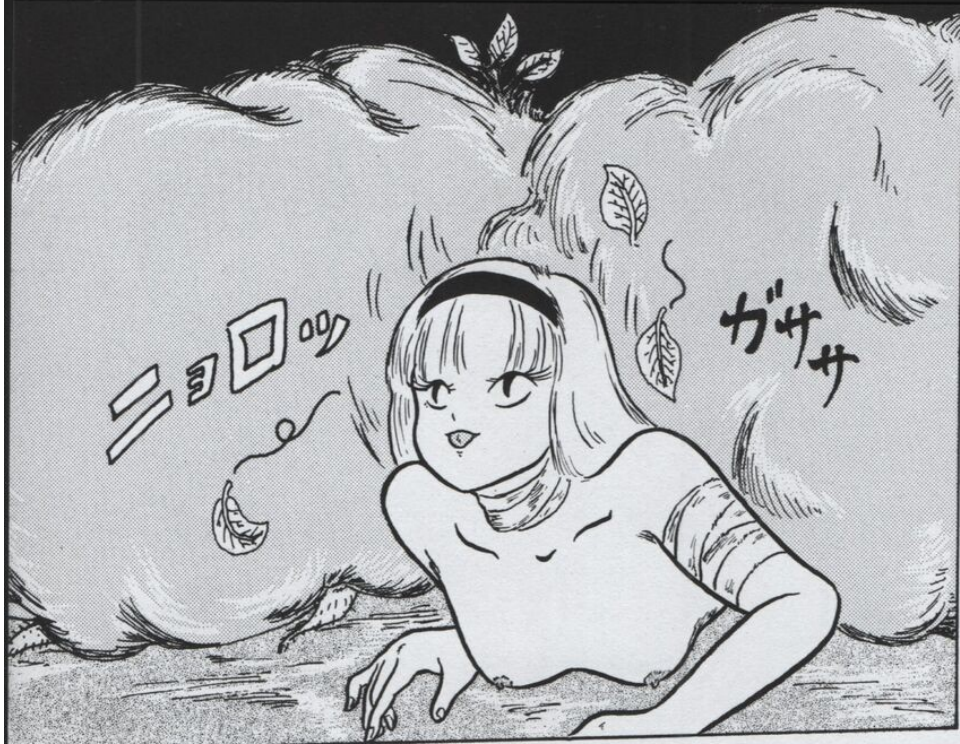




ワヤーをナイフでヒザちがまらうづいだと思うが...



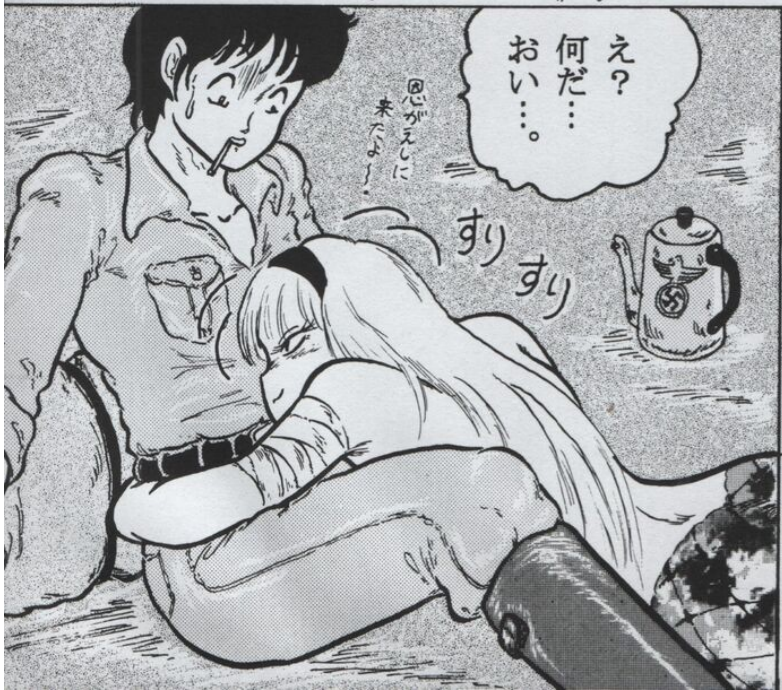




ウェブリースコット45 ニ次戦ダメダ拳銃のひとつ。

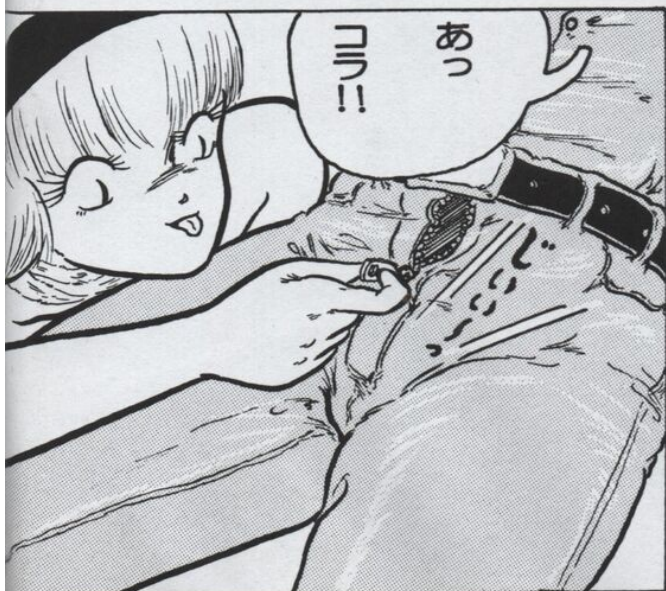


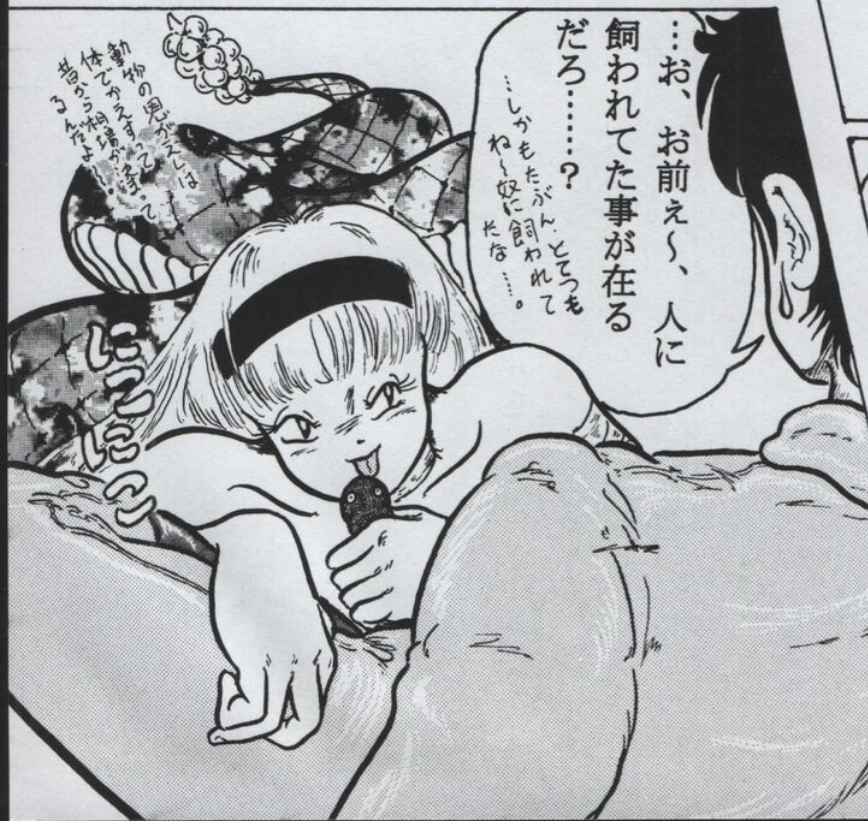
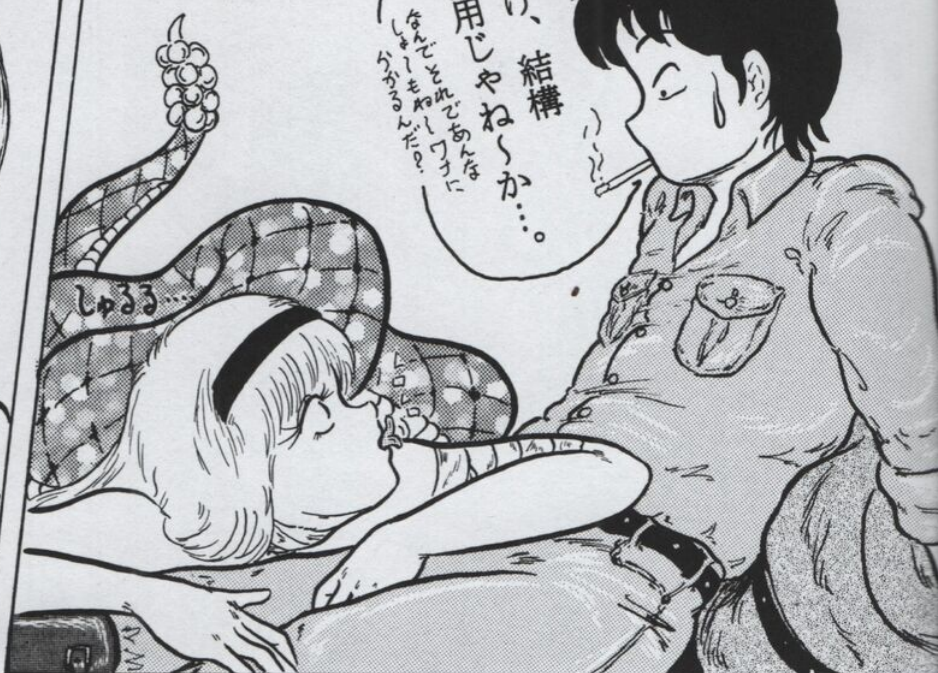
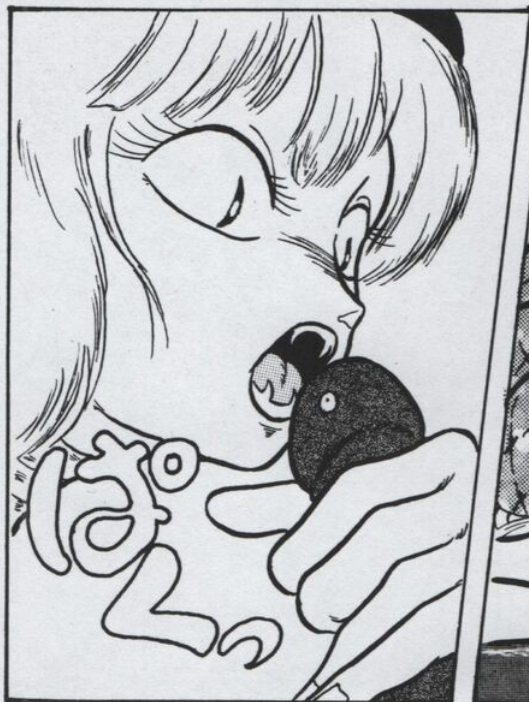
ダブルアクションなので撃鉄を起さなくても射る。



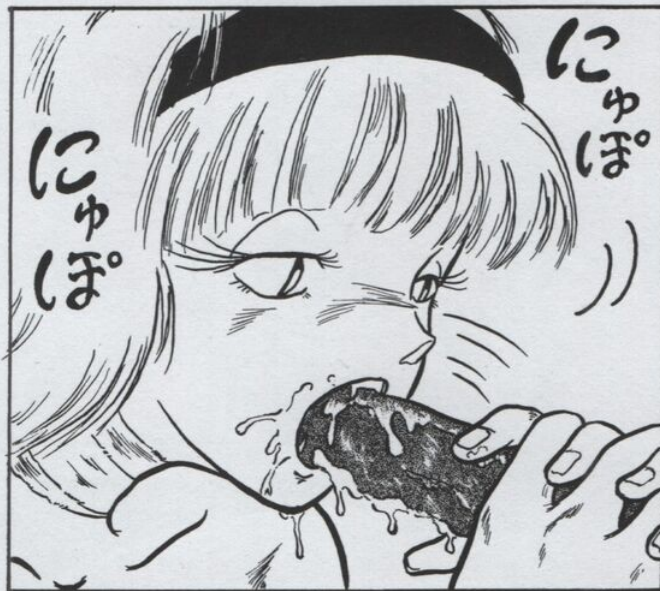
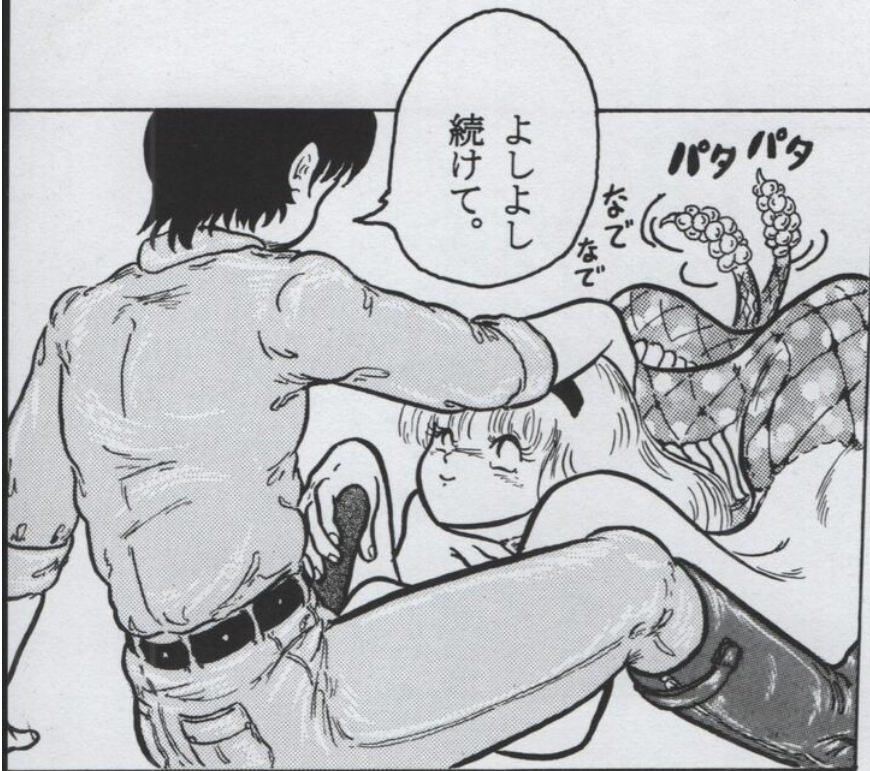


いや、お、はいがあるから、血動物かも知れんぞ。









……そんな事に、命はるなよ、お前……。ある意味、因のうしろめたな奴だ。



じる
じる



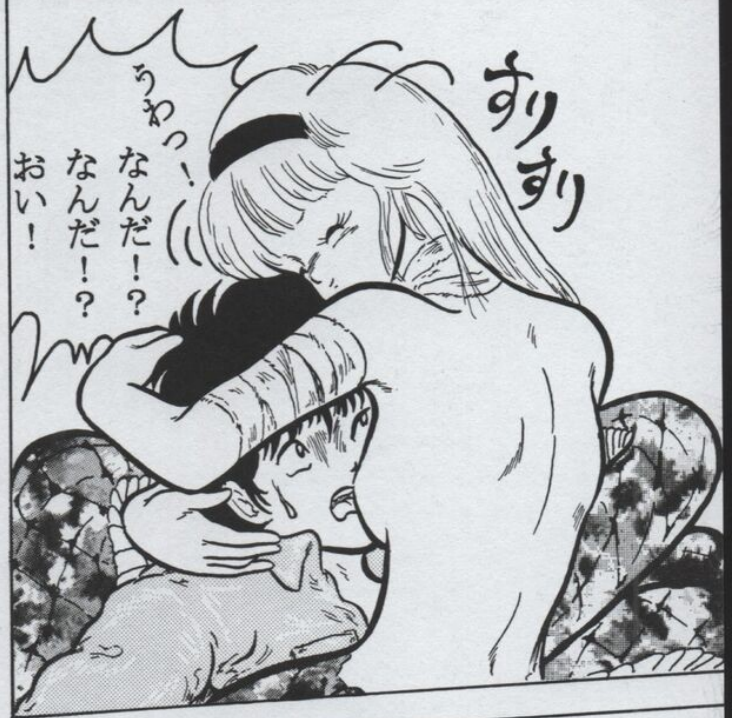
に
ゆる



くほっ
たまりん!

びゅばっ!!





ふしやるる……



へビには汗腺が無いから汗はつかないのでは？



しずあああー

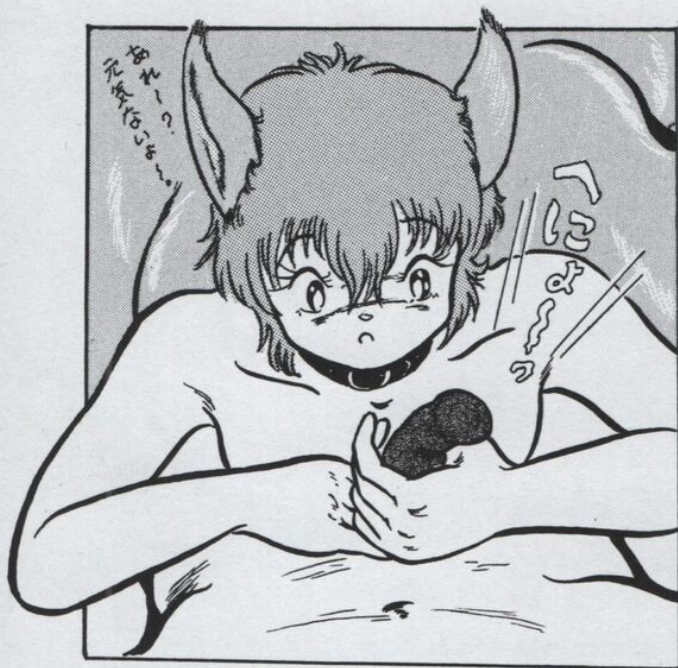


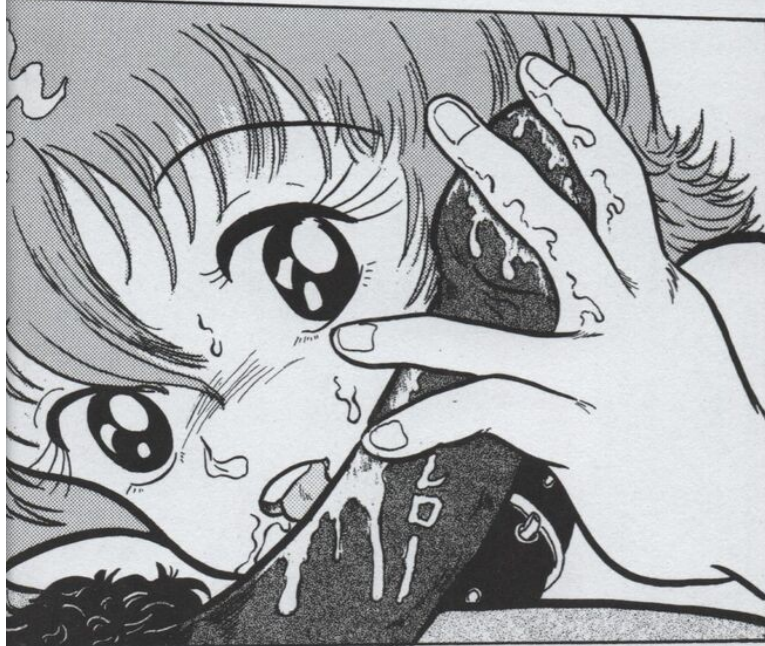
あばよ。
もう罫になんか
掛かなよ。

蛇は逃げや
からな。

ばいばい



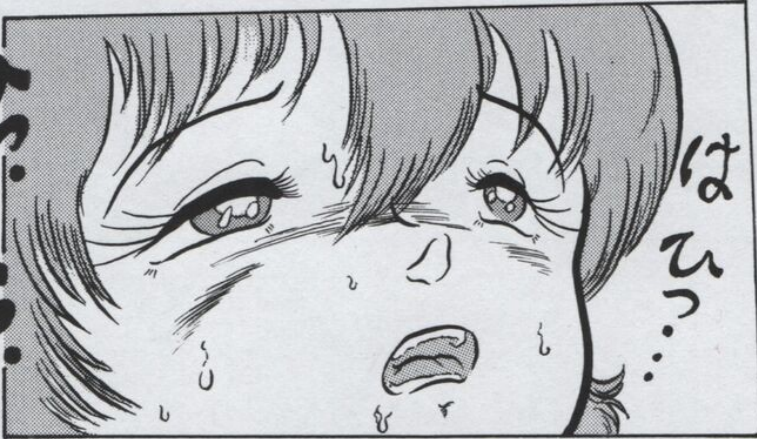
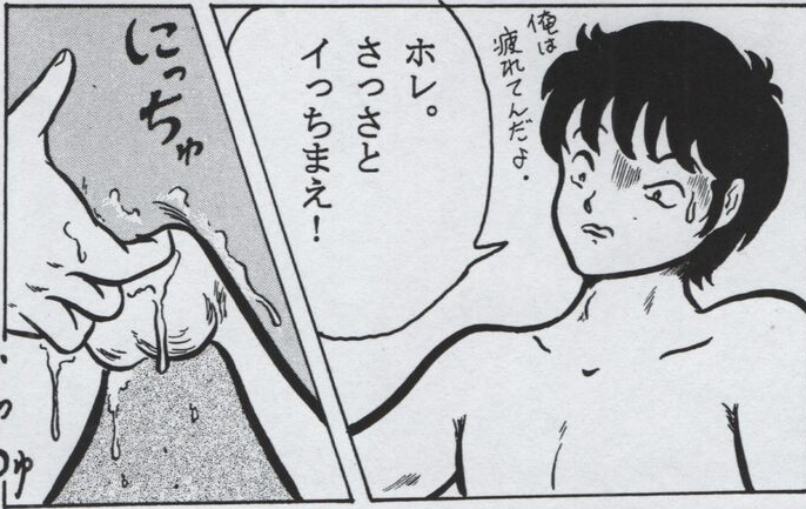






馬は汗をかきやすいので、
すぐにカビをひく。





先日、十五年ぶりくらいに、昔の仲間(同人関係者ではない。念のため)から電話があった。彼とは、二十二年くらい前に、一緒に爆弾や銃を作って遊んでいた仲間だ。彼は相変わらず、アウトロー街道一直線で、今でも元気に、㊦の字の人たちと、もめたり、警察に泊まりに行ったりしているらしい。

いきなり「新宿のやくざ知らない? 金取り返そうと思ってる。」だもんなあ。そっち方面の知り合いとは、学生時代に縁を切ったんだってば。今は地元の連中だって、ろくに知らないの。

話してるうちに、「露木さん丸くなったね。昔は一番ギラギラしていると思ったのに...。」いや、そう言われても...

確かに思い当たる節は有る。このころ、人生守りに入っているかもしれない。最近、ちよつと枯れてきてると、自分でも思うところあるもんなあ。ちよつと反省...

待て! 悪の道から足を洗いかけてる事を、反省してどうする、俺! (笑)

...で、結局何の話しかと思ったら、今度、会社を立ち上げたので、一緒にやらないかと言う話だった。会社の内容を効いてみると、どう考えても危ない。あきらかに参加したら危険な方向だ。(笑)

いい歳して警察や裁判所ともめるのも嫌だし、㊦の字の人たちともめるのは、もつと嫌だったので、そう言ってお断りすると、

「それこそ、あの頃の露木さんなら、絶対に言わなかった台詞でしょう。いったいどうしちゃったの?」

いや、だから、私はテロリスト辞めたんだってば。最近、銃刀法も、危険物取り締まりも、破つてないの。交通法以外の法律は破つてないの。(苦笑)

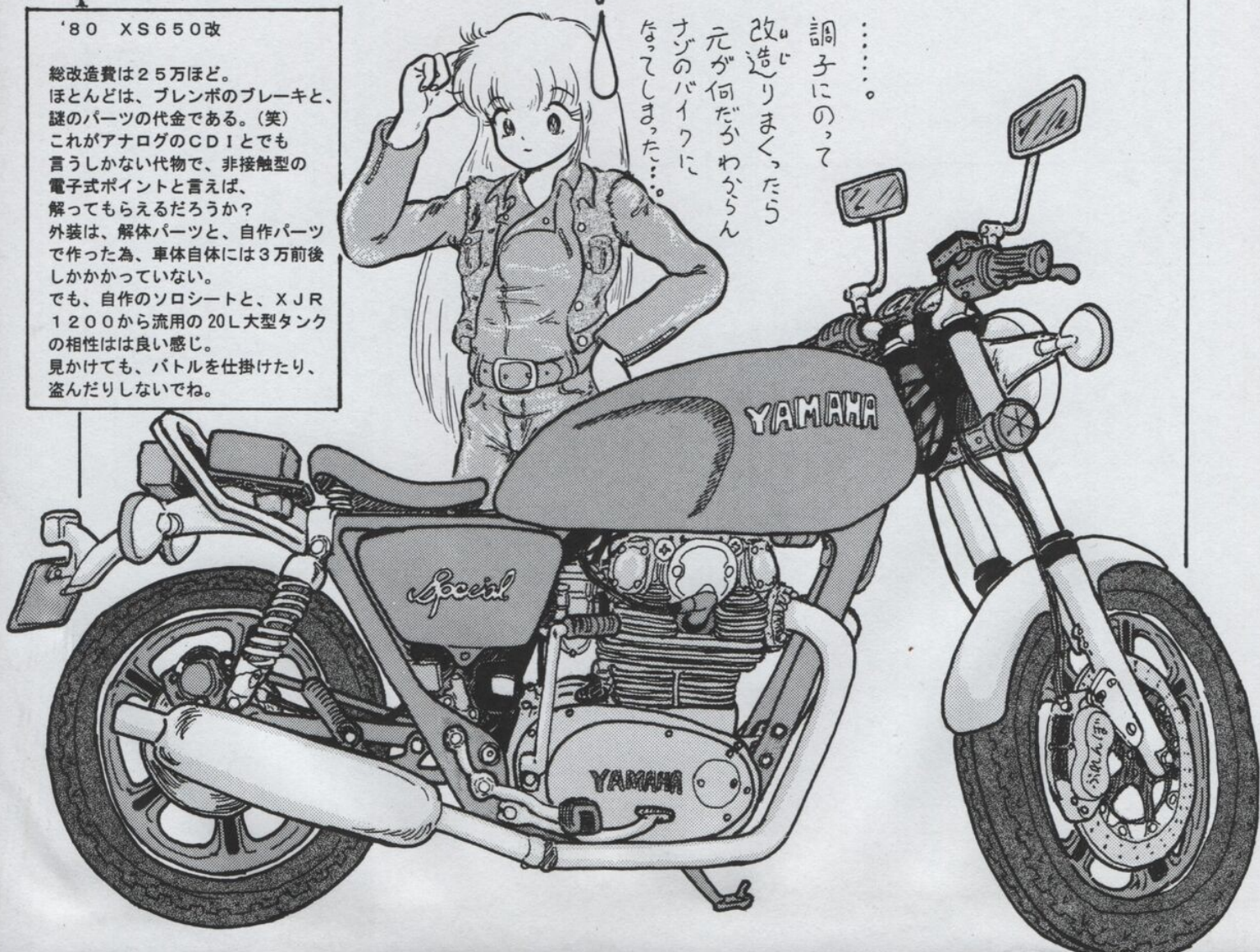
考えてみると、あの頃、チームを組んでいっしょに遊んでいたメンバーで、一番まともなまともと言えるかどうか...生活を送っているのが、私だというのは、かなり問題が有ると思うぞ。(笑) 平均寿命も半ばに差し掛かっているというのに、普通に会社勤めしてる人間が、一人もない。誰も結婚してないし...

みんな更生したまえ。いい年なんだから。(笑) ...とか何とか言っても、平和に普通に生きるより、多少やばくても面白い方が良く、とか考えちゃってる連中は、私も含めて一生ダメなんだろうなあ。(笑)

も含めて一生ダメなんだろうなあ。(笑)

'80 XS650改

総改造費は25万ほど。
ほとんどは、ブレンボのブレーキと、謎のパーツの代金である。(笑)
これがアナログのCDIとでも言うしかない代物で、非接触型の電子式ポイントと言え、解ってもらえるだろうか?
外装は、解体パーツと、自作パーツで作った為、車体自体には3万前後しかかかっていない。
でも、自作のソロシートと、XJR1200から流用の20L大型タンクの相性は良い感じ。
見かけても、バトルを仕掛けたり、盗んだりしないだね。



調子にのって
改造りまくったら
元が何だかわかん
ないのバイクに
なっちゃった...

あとがきと言うか、なんと言うか…。

どうも、初めての人には、はじめまして。そうで無い人には、毎度。ばあびい露木でございます。

久しぶりに、いつもの私の漫画です。人形以外の私の作品は、近親相姦物か、この手の、何処だかわからない、異世界の作品です。しかも必ず、世界は砂漠化していて、ふてぶてしい主人公たちが、いいかげんに、たくましく生きている。

私がこの世界に足を踏み入れる原因になった友人に、『実話ベースで無い限り、あんたの世界観は、二次戦をしてるか、ザブングルをしてるか、どっちかやのう。』と、言われてしまいました。(…かと言って、人形物と、近親物が、実話ベースだと言っているのではないぞ。笑)

これだけ、ガンダムの漫画を出しているサークルの代表が言うのもなんだが、実は私が、サンライズ作品で、一番影響を受けたのは、ザブングルなのです。いや、あれって、お話としては、後半どうしようもなくなっちゃったのは、間違いないんだけど、あの作品の世界観って、私の好みなのよね。

私の考える世界って、やはり、荒廃して、砂漠化していなければならぬ。いし、火薬で弾丸を飛ばさないようなものは、銃砲とは、認められない。ましてや、化石燃料を燃やして、排気ガスをばら撒く内燃機関以外を、エンジンとして認める気は、まったくありません。

そんな中で、あくまで、ふてぶてしく、たくましく、いいかげんに生きている世界。

そんな世界が、やはり、私の考える世界なのです。

ついでに。どーせ、バレてると思いますから白状しちゃいますが、この作品、何年か前に、描きかけで放ったらかしにしていたのを、今回、続きを描きたした物です。途中から絵が変わっているのは、そのせいです。

困った事に、紙の色まで変わっている。印刷で出ない事を祈ろう。(笑)

さて、次回は何かな？

児童ポルノ法の目がくぐれそうなら、妹もののひどい漫画を2本ばかり企画しています…。

小説物も書きたいんですが、いくらエロ小説と言っても、オリジナル小説は、即売会ではまず、売れないしなあ。キャラ物は、これは、というキヤラがないと、書く気にならないし…。と言っわけで、次回作は未定です。その時のお楽しみに。

おくづけ

ばび官別冊 ばあびい露木個人誌

『人畜有害 鬼畜にや無害』

発行 ピグロリオン

連絡先 〒243-0032 厚木市恩名 969

露木方 バービーまで

E-mail barbie@netpro.ne.jp

発行日 2002年8月11日

無断で転載したり複製したりする事は、別に禁じませんが、その時はたっぷりほめてくださいね。また、歪んだ取り上げ方をして、どっかから文句が来ても、当方は一切責任をとりませんので、そのつもりでどうぞ。

商業誌の編集さん。読んでたらいっせ下さい。
マンガでも文章でも引き受けますよー。

